

北の大地 美深町で  
農業を始めてみませんか

# 美深町 INFORMATION

## ア クセス

### ■車で

- 札幌～美深  
(226km・車で3時間15分、道央自動車道使用)
- 旭川～美深  
(100km・車で1時間30分、道央自動車道使用)
- 稚内～美深  
(150km・車で2時間30分)

### ■JRで

- 札幌～美深(2時間35分 特急)
- 旭川～美深(1時間12分 特急)

### ■飛行機で

- 東京～旭川(1時間35分)
- 名古屋～旭川(1時間40分)
- 大阪～旭川(2時間)

美深町

旭川市  
旭川空港

札幌市

新千歳空港



美深町

# 新規就農の ご案内



B I F U K A

## お問い合わせ

### ■美深町役場農務課農業グループ

〒098-2252  
北海道中川郡美深町字西町18番地  
TEL:01656-2-1641  
FAX:01656-2-1626

HP…<http://www.town.bifuka.hokkaido.jp/>

### ■北はるか農業協同組合 営農課

〒098-2220  
北海道中川郡美深町字大通北1丁目  
TEL:01656-2-1601  
FAX:01656-2-2225

HP…<http://www5.ocn.ne.jp/~jabfk123/>

### ■北海道農業担い手育成センター

〒060-0001  
札幌市中央区北1条西7丁目  
TEL:011-271-2255  
FAX:011-271-2266

HP…<http://www.ninaite.or.jp/>

### (地域新規就農者支援組織)

#### ■R&Rおんねない

後継者のいない酪農家が  
継承者を育成する組織です。

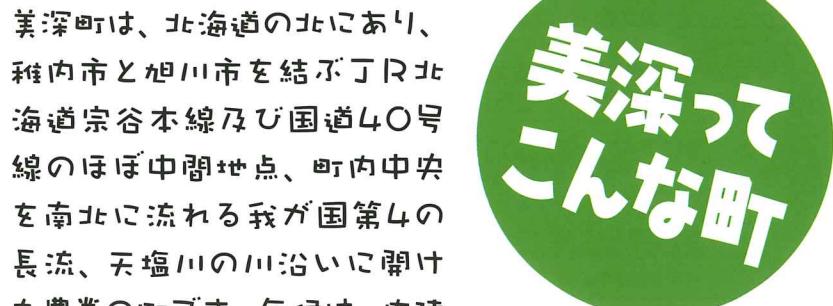
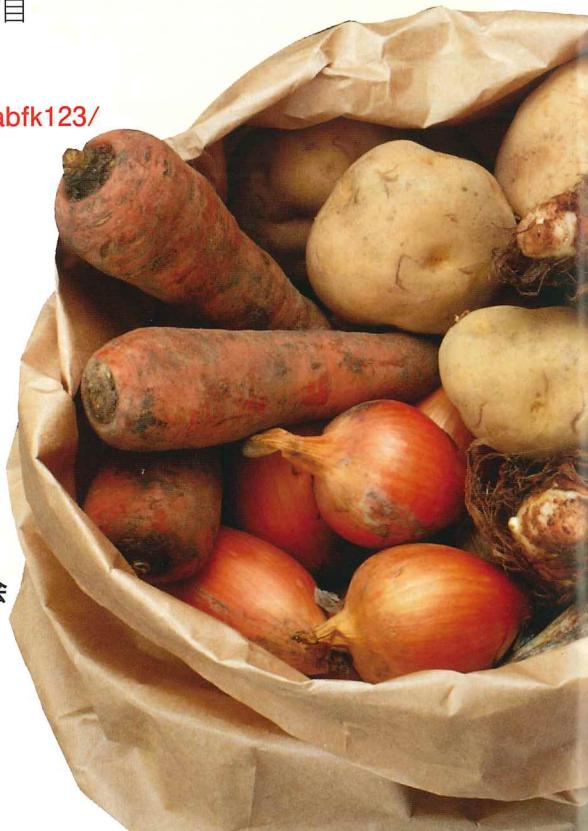
#### ■農の彩北おんねない

#### ■西紋営農集団 新規就農支援部会

#### (お問い合わせ先)

#### 北はるか農業協同組合 営農課

TEL-FAXは上記参照  
HP…北はるか農業協同組合ホームページ内に  
R&Rおんねないのページを掲載



美深町は、北海道の北にあり、稚内市と旭川市を結ぶJR北海道宗谷本線及び国道40号線のほぼ中間地点、町内中央を南北に流れる我が国第4の長流、天塩川の川沿いに開けた農業の町です。気候は、内陸的気候で盆地特有の夏冬の温度差があり、夏は最高気温が30度を超え、冬は氷点下30度の最低気温を記録するなど、年間気温較差が60度以上もあります。厳しい自然条件ですが、春には桜が咲き乱れ、夏は青く染まった空と緑に囲まれ、秋には紅葉、冬は一面銀世界となり、四季の美しさと共に、心のぬくもりがある街です。



天塩川



びふかアイランド



道の駅「双子座館」



びふか松山湿原



キャンプ場



びふかふるさと夏まつり

# 豊かな大自然の中、農業を始めたいあなたを美深は応援します！

美深町では、町内で新たに農業を始める就農者に対して奨励金・助成金並びに農業経営に必要な制度資金に利子補給金等を交付するなど新規就農者のための条例を設けて支援しています。豊かな自然の中で生きる喜びを得る、北海道農業へチャレンジしてみませんか。

## 美深町農業のあらまし

美深町の農業は、天塩川流域とこれに注ぐ数条の中河川によって形成された肥沃で平坦な土地条件を生かし、水稻・畑作・畜産と早くから本町の地域経済の重要な役割を担ってきました。耕地面積4,421ha、農家戸数216戸となっています。水稻は、日本の北限に位置し、もち米団地を形成しています。酪農畜産も盛んで、乳牛・肉牛の飼養頭数は1万頭を数えます。畑作は、小麦・馬鈴しょ・ビート・小豆の他、近年は野菜導入が進み、中でもカボチャ・アスパラは道内の有数な産地となっています。

## ■美深の概要（平成22年農林業センサス）

- 人口～5,080人
- 世帯数～2,404戸
- 面積～67,214ha
- 農家戸数～216戸
- 水田面積～254ha
- 普通畠面積～1,954ha
- 牧草地面積～2,213ha
- 乳牛頭数～3,600頭
- 肉牛頭数～9,041頭

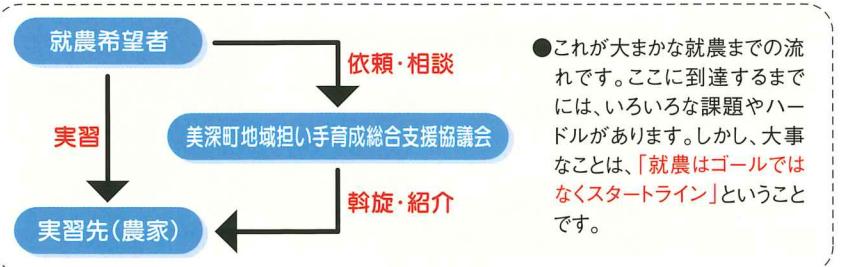
## 農業をはじめられるまで

### ●受入→実習→土地取得・独立までの大まかな流れ

まず、最初に農業に必要な知識・技術を身につけることから始まります。農家で2年程度の実践的な研修を受けながら知識や技術を身につけます。

美深町では、希望する経営形態・年齢・経験などから、希望者に最適な実習先を選定し、斡旋します。この間は何度も連絡を取りますが、現地に足を運んでいただき、本人の目で確認していただく事をお勧めします。

研修期間が経過し、独立できる目処がたった段階で、就農の準備に入ります。農地取得を始め就農にむけ関係機関が地域農業者と共に支援します。



## 就農の準備・心構え

### ●資金について

就農に当たっては一定程度の資金が必要になります。研修期間中は、生活費を十分にまかないきれる収入を得ることは出来ません。このため、美深町や北海道農業担い手育成センターでは実習期間中の助成金や融資(返済免除規定あり)などを用意しており、これらの制度を活用しながら研修期間を過ごすことになります。

何かの時のためには備えて、できる限りまとまった額の資金を用意して実習に臨むことをお勧めします。

また、独立する際の投資についても、すべて自己資金でまかなうことは困難であり、各種の融資制度などを利用する必要がありますが、何よりも身の丈に合った投資計画とライフスタイルの確立が望されます。

### ●住宅について

#### ～住宅の確保も必要です～

研修期間であっても、1ヶ月くらいの短期間であれば研修先農家に住み込み…などということもあります。長期間で、しかも家族ぐるみとなると、そもそもいきません。

アパート・町営住宅・中古住宅などなんでもいいから、とりあえず居を構えること(それも借家)が一般的です。

この場合、研修先との距離は、それほど気にしなくても構いません。車で通えば、多少の距離の差は問題にならないし、大都市圏の通勤地獄から比べれば天国です。

美深では、決して十分な量の住宅が用意されているとは言えませんが、就農希望者の要望をできる限り聞き入れ、親身になって物件をあっせんします。

## その他の準備

### ●自動車免許

美深町に限らず、北海道の農村は車社会です。ちょっとした買い物、役場・農協での用事、休日のレジャーなど、自動車なしでは非常に不便というより生活が不可能に近いかもしれません。また、農業実習の上でも車の運転は必要です。最低限普通免許は取得しておきましょう。(夫婦ともに運転できればベター)

### ●健康

当然の話ですが、農業は自然相手の仕事のため、仕事時間は季節・天候などに左右されます。まとまった時間を体の治療に費やすことは難しくなります。

もちろん、突発的なものはその都度対応していくほかないわけですが、実習に入る前に治療し、万全の体調で実習に臨んで下さい。

「農業を始める」「就農する」ということは、言いかえれば自営業主として開業・独立することです。それまでに越えなければならないハードルはいくつかありますが、これらを着実にひとつひとつ解決していくことが必要です。地域の人々や関係団体もできる限りの支援・協力を惜しみませんが、最後に決め手になるのは、本人の意欲と熱意です。

## ～美深町による支援・優遇措置～

対象者	新規就農予定者	新規就農者
対象者	新規就農者となるまでの間、美深町内で農業実習等により、農業技術を修得する者。	美深町で、一定以上の農用地等を取得、または借り受けで新たに農業経営を行う者。
資格要件	1.個人経営の新規就農者は年齢が20歳以上概ね55歳以下で、配偶者又は18歳以上の同居の親族を有すること。 2.共同経営体の新規就農者は年齢が20歳以上概ね55歳以下で、2人以上が構成員となっていること。 その他、支援措置等を受けるには実習計画書・営農計画書の審査認定を受けることなど要件があります。	※経営自立援助金の支給 1.農用地を借り受けた場合の賃貸料の半額支給(5年以内) 2.固定資産税相当額の支給(3年以内) ※経営自立安定補助金の支給 1.農地等取得に係る制度資金借入金の4%分(5年間) ※農地取得借入金償還利子補給金の支給 1.農地等取得に係る制度資金借入金償還利子の1%分(7年間) ※生活環境整備補助金 1.住宅環境整備を行った場合、整備費の2分の1以内(50万円上限・就農から5年以内)
優遇措置の内容	※営農実習助成金の支給 1.支給金額…月額20万円以内 2.支給期間…2年以内	

## ～他の制度等による支援・優遇措置～

### 北海道農業担い手育成センター

北海道を担う若者を確保・育成するために、道内市町村や農業関係団体により設立された、北海道での就農希望者のための総合窓口機関です。

#### [主な支援活動]

- ・研修先・就農候補地の紹介
- ・研修・就農準備のための資金の貸付け(一部償還免除あり)
- ・農業技術習得のための各種研修会の実施

### (公財)北海道農業公社

離農跡地などの農地を一定期間保有・整備した後、新規就農者や担い手農家等へ貸付けや売渡しなどを行い、農地の流動化・有効利用を促進する団体です。

#### [主な支援活動]

- ・農地保有合理化事業…公社が取得した農地を、新規就農者等に一定期間貸し付けた後、売り渡す事業で、税金面や金融面での優遇措置もあります。
- ・農場リース円滑化事業…農地保有合理化事業を実施する際に、施設や乳牛なども農地と共に一定期間貸し付け、売り渡す事業です。

※その他にも各種の融資制度が整備されており、計画的な投資を支援しています。制度の詳細については、農協の金融担当課、上記の担い手センターなどの関係機関にお問い合わせください。



(H17就農・出身地 千葉県) 亀田 健太郎さん



(H18就農・出身地 大阪府) 塩崎 智史さん



(H20就農・出身地 秋田県) 近野 剛さん



(H22就農・出身地 神奈川県) 古川 満之さん



(H24就農・出身地 山梨県) 中村 幸造さん